

こども家庭センターのスタッフが子育てについての情報を発信していきます！

今月のトピック 体罰によらない子育てのポイントとは



体罰はよくないと分かっているけど、いろいろな状況や理由によって難しいと感じられることもあります。ここではこどもとの関わり方の一例をご紹介します。

こどもの気持ちや考えに耳を傾けましょう

受け止めてもらえたという体験で、こどもは気持ちが落ち着いたり、大切にされていると感じたりします。

良いこと、できていることを具体的に褒めましょう

こどもの良い態度や行動を褒めることは、自己肯定感を育むことにもなります。

まだ
遊びたいんだね



準備ができたね！
すごいね！



「言うことを聞かない」にもいろいろあります

大人の気を引きたい、こどもなりに考えがあるなどさまざまです。



もしかしてお腹が
空いたのかな？

【参考】こども家庭庁ホームページ



子育てに悩んだら、抱え込まずご相談ください
氷川町こども家庭センター ☎0965-62-3456
(月～金曜 8時30分～17時15分)



町民文芸

投稿先 〒869-4814 氷川町島地642番地 企画財政課宛（毎月5日必着）

俳句

落葉浮く隙間に鯉の眼あり
まなこ
北野津 井田 道寛
ブリ大根とろけるほどにやわらかく
西野津 古崎 スエノ
初日の出光りとなりて初空へ
西野津 古崎 栄子
異常気象か庭のカエデが十二月に紅葉
西上宮 廣瀬 小亀
寒風で旨みましたる大根漬
西上宮 山下 環

短歌

さざんかののはらりはらはら降りしきり
地は酔ふ如く樹下染めにけり
北野津 井田 道寛
庭先の竹かごに千す豆の種
友の暮らしのほほえましくて
西野津 古崎 スエノ
十二月カレンダーめくりてふと思ふ
血管探すナースの懸命
西野津 古崎 栄子
生姜掘る前年より良い作り方を
素直に行ったその成果だ
西上宮 廣瀬 小亀



『金閣寺燃ゆる』
三島由紀夫「金閣寺」から その3
法道寺 本田 花風
林養賢（しょうけん）は京都府舞鶴市
成生に生まれ、父は社務をしていたが、
四十三歳で死去している。彼は三歳から
吃音がみられていた。昭和十六年、十二
歳、東舞鶴中学入学に入学したが、父は
死を前にして寺のよしみを通じて金閣寺
住職に息子を受け入れてくれるように嘆
願の手紙を送っている。その願いが叶っ
て養賢は金閣寺で得度した。僧名は承賢。
中学に通いながら昭和二十年中学を繰り
上げ卒業。養賢は寺務や畑仕事を行い、
母子二人の和やかな時間が流れているか
に思われた。終戦を郷里で迎える。小説
では私（溝口）で登場する。
戦後、養賢は筆頭僧として率先して寺
務をこなし、後輩たちの面倒もみていた。
養賢は向学心を認められ昭和二十二年大
谷大学予科に入学。
まず、小説『金閣寺』の簡単なあらす
じから。
1950年の金閣寺放火事件に対し、
三島由紀夫が容疑者の人物像や犯行動機
に対する自身の見解を基に書き下ろした
作品である。
この事件の犯人の若い学増は重度の吃
音を抱えており、幼い頃からいじめられ
ていた。その生まれ育った環境から生ま
れた打ち消し難い悩みと、外の世界に対
する拒絶感、人生に対する呪いと美に
対する独特な感性を育んだ。
貧しい寺の子として育った少年は、学
僧として金閣寺を所有する臨済宗相国寺
（鹿苑寺）に預けられる。「金閣寺ほど
美しいものはない」と父から言い聞か
されていた少年は想像の中でその美しさを
膨らませていたが、実際に初めて見た金
閣寺にはそれほど美しさは感じられず落
胆した。

八火図書館だより

☎0965-62-3489

一般書

百年かぞえ歌 / 大崎 梢
音のない理髪店 / 一色 さゆり
森田繁子と腹八分 / 河崎 秋子
わからないので面白い / 養老 孟司

児童書

みんなのくまくまパン / 西村 敏雄
ワニのクロコ / アンドレス・ロペス
さんにんめのミトンちゃん / リンダ・ベイリー
はたらく図書館 / 吉田 亮人

第51回八火図書館 本まつり開催！！

本まつりは、八火先生（故・光永星郎氏）の命日である2月20日前後に、八火精神の継承と町民の読書活動の推進を図ることを目的とし、毎年開催しています。読書感想文・感想画入賞者や多読賞の表彰のほか、今年度は『劇団 ぱれっと』による人形劇など楽しい催しとなっています。たくさんのご参加をお待ちしています。

暦の上では冬が終わり、春に向かって季節は移っていきます。ただ「三寒四温」と言われるように寒さはもう少し続きますが、図書館には、心温まる内容の本がたくさんあります。暖かい春を楽しみに、この時期も読書に親しみましょう。



おすすめ図書

『友近の思い立ったらひとり旅』

友近

お笑い芸人の友近さんのエッセイ集。友近さんは大の旅好きで、愛読書は旅行雑誌だそう。読んでみると自分もそこの宿に行きたくなる、真似して同じ旅をしたくなる、ふらっと行く旅のお供になる1冊です。

■日時 2月8日㊥ 14時～
(13時30分～受付)
■場所 氷川町公民館
多目的ホール

